

## 「第9期相模原市高齢者保健福祉計画（案）」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

### 1 概要

高齢者がいきいきと充実した生活をおくることができるよう、超高齢社会をめぐる様々な課題に対し、基本的な目標を定め、その実現に向けた取組を推進するため、第9期相模原市高齢者保健福祉計画を策定するにあたり、市民の皆様からご意見を募集しました。

その結果、56人の方から112件のご意見をいただき、お寄せいただいたご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方をまとめましたので、次のとおり公表します。

なお、いただいたご意見につきましては、一部の意見を計画（案）に反映するとともに、今後の取組に生かしてまいります。

### 2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和5年12月15日（金）～令和6年1月22日（月）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール、インターネットのフォーム入力
- ・ 周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架、オープンハウス型説明会の実施

#### ※ 資料の配架場所

地域包括ケア推進課、高齢・障害者支援課、介護保険課、津久井高齢・障害者相談課、緑高齢・障害者相談課、中央高齢・障害者相談課、南高齢・障害者相談課、城山福祉相談センター、藤野福祉相談センター、相模湖福祉相談センター、住宅課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター(城山・橋本・本庁地域・大野南まちづくりセンターを除く)、各出張所、各公民館(星が丘・沢井公民館を除く)、各図書館、市立公文書館

### 3 結果

#### (1) 意見の提出方法

意見数		56人（112件）
内 訳	直接持参	0人（0件）
	郵送	22人（22件）
	ファクス	29人（81件）
	電子メール	2人（4件）
	インターネット	3人（5件）

(2) 意見に対する本市の考え方の区分

ア：計画案等に意見を反映するもの

イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの

ウ：今後の参考とするもの

エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目	件数	市の考え方の区分			
		ア	イ	ウ	エ
計画全体に関すること	6	0	3	3	0
第1章 計画の概要	0	0	0	0	0
第2章 高齢者を取り巻く現状と課題	0	0	0	0	0
第3章 計画の基本的な考え方	4	0	4	0	0
第4章 施策の展開	80	0	44	34	2
第5章 日常生活圏域の現状と課題及び取組の方向性	0	0	0	0	0
第6章 認知症施策推進計画	3	3	0	0	0
資料編	0	0	0	0	0
その他	19	0	2	9	8
合計	112	3	53	46	10

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
計画全体に関すること (6件)				
1	抽象的な事を言っているのが多く、もっと具体的に示してほしいです。このままでは不安になります。	1	本計画の内容については、高齢者保健福祉に関する施策の方針を示すものであるため、具体的な事業名等を記載していません。方針に基づき、必要な施策を実施してまいります。ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	ウ
2	多々に抽象的な言い方はやめて、市民にわかるように具体的に記載して下さい。	1		
3	多々に抽象的な文章で、市民に解るように具体的に記載してください。	1		
4	自分のことは自分(自助)では限りあります。是非、公共の福祉を充実させてください。	1	超高齢社会を迎え、生産年齢人口が減少していく社会背景を踏まえると、制度維持や地域共生社会の実現の観点から「自助」「共助」「公助」を適切に組み合わせ、高齢者福祉施策を推進する必要があると考えています。この考え方を前提に、必要な「公助」による支援を推進してまいります。	イ
5	民間活用や提携・連携は聞こえは良いが、福祉や市民の暮らしへの支援の市の財政支出を抑制するための施策になっていないでしょうか、大いに疑念を抱かざるを得ません。	1		
6	相模原市は高齢者が生き生きと生活できるようにする。高齢者社会となり、支える人(担い手)が少なくなるとして、地域で100才体操などし、介護予防、社会参加の推進が必要などと、R6~8年度までの計画(案)を出しましたが、高齢者、介護者、家族に手厚い福祉にはほど遠いものです。憲法でも公的支援を行うことと明記されています。	1	誰もが役割と生きがいを持ち、住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、介護予防・健康づくりの取組を重点的な取組としています。ご意見を踏まえ、引き続き、高齢者本人に対する支援だけでなく、介護者等を含めた包括的な支援を推進してまいります。	イ
第3章 計画の基本的な考え方 (4件)				
7	市が言う社会全体で支えあい、安心して暮らせるまち…誰が支えますか?どんなまちを考えているのでしょうか?市民の声を聞いて下さい。	1	本計画では、「みんなで支え合い 地域の力が育む 人にやさしいまち さがみはら」を基本理念に掲げ、住み慣れた地域で、人生に尊厳を持ち、自立した日常生活を営むことができる社会を	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
8	市が言う、社会全体で支えあい、安心して暮らせるまち…誰が支えるのか？どんなまちを考えているのでしょうか。国と市は高齢者に手厚い支援をする仕事をしてください。	1	現するため、「地域包括ケアシステム」を推進するとともに、「支える側」「支えられる側」という画一的な関係性にとどまらない、全ての方が実施する主体的な取組を推進するなど地域共生社会の実現を目指した取組を進めてまいります。	
9	これまで市独自のサービスとされていたマッサージ等に対する補助制度も次第に制限されそうです。年金で豊かでゆとりがあれば健康も買うことも出来ますが、物価高の中では孤独死につながる例も出そうです。ひとりも取り残さない安心して暮らしていける市になるよう、高齢者への思いやり、弱者支援を取り入れて下さるよう計画を見直される事を申し上げます。	2	本計画における重点的な取組事項として、誰一人取り残さない社会を実現するため、高齢者本人に対する支援だけでは解決できないような、複合化・複雑化した課題を受け止める「包括的な支援体制の整備」を推進してまいります。	イ
第4章 施策の展開 (80件)				
10	高齢者等が立寄り、仲間づくり、たすけあい等ができる、地域の活用できる施設確保が絶対に必要と考えます。	3	コミュニティなどの通いの場への参加を促進することは、高齢者の介護予防施策等を推進する上で重要な課題と捉えております。ご意見の趣旨を踏まえ、今後も通いの場等への社会参加を推進してまいります。	イ
11	近くには仲間づくりの場所がないので集まる所が欲しいです。公民館は遠くて通えません。	1		
12	近くに集まる所がないので集会所が欲しいです。公民館は遠くて歩けません。	2		
13	高齢者が地域で活動出来る場所が必要だと思います。公民館ぐらいしかありません。	1		
14	高齢者の立寄り仲間作りが出来る場所が欲しいです。	7		
15	高齢者が集まる所です。楽しいひとときです。体操とかカラオケとかみんなが集まる所です。場所が	1		

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	ほしいと思います。			
16	地域にコミュニティ施設が必要です。	3		
17	仲間作り 災害時等の助け合いの為の場所	1		
18	いつでも地域で活用できる場所、ひきこもらない社会を作る為に施設等が必要です。安心な居場所が必要です。	1		
19	現在私達が利用している施設が無くなる事がありませんようによろしくお願いいたします。私達は本当に楽しみにして利用させて戴いております。	1		
20	民謡の鈴邦会に加入しており練習しています。このようなコミュニティは必要と思います。	3		
21	家庭で認知症の介護、デイサービスを使用していますが、家の中にいることが多くなります。コミュニティもない地域です。近くに気軽に行ける(他の方とお茶できる)場所があるといいです。そんな支援は考えていませんか。	1	本計画では、「認知症カフェ」等の通い(集い)の場の拡充を主な取組の一つに掲げています。 認知症カフェは、認知症のある人や家族・地域住民など誰もが参加でき、交流を図り社会とつながりができる場であり、認知症のある人にとっては自ら活動し楽しめる場であり、家族は交流や相談を通してわかり合える人と出会う場所となっています。 認知症のある人やその家族が相談・リフレッシュできる交流の場づくりは大変重要と考えています。	イ
22	日々の生活が近所の人達と喜んだり楽しんだりしてすごせること。時には歌ったり踊ったり旅行したりと趣味たのしめる施設や交通手段もある事。こんな生活できれば人は元気に過ごせるのではないのでしょうか？ 交通網、低額で利用できる施設が	1	通いの場の運営に対する支援を行うなど、住み慣れた地域でいきいきと生活が続けられるよう取り組んでまいります。 また、地域主体の移動支援に対する支援や民間の路線バス等を補完するコミュニティバスの運行等、地域の実情に応じた移動手段の確保のほか、交通事	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	市の施設としてあれば日々の活動の成果を発表したり観賞しあったりして喜びあうこともできると思います。日々の生活にも張りがきます。		業者と連携し、効率的な交通環境の構築に引き続き取り組んでまいります。	
23	高齢者が、自分の足で出歩けるようにせめて市内の移動ぐらい自由にできるよう、バスの無料バス制度をつくってください。	1	地域主体の移動支援に対する支援や民間の路線バス等を補完するコミュニティバスの運行等、地域の実情に応じた移動手段の確保のほか、交通事業者と連携し、効率的な交通環境の構築に引き続き取り組んでまいります。	ウ
24	高齢になり運転免許を返納すると病院や買物が出来なくなります。又足が不自由で歩行困難にもなります。地域巡回の出来る小型の車等交通手段を考えて下さい。	1		
25	車の免許もない、家の人も不在かなちゃんカードの購入補助をお願いしたいです。	1		
26	私は81才です。病院6ヶ所かかっています。子ども勤めで病院へ行くのにバスを使っています。かなちゃん手形の助成を東京都みたいにして下さい。病気を治して楽しく一生終りたいです。	1		
27	高齢期の一番の不安は健康に日々過ごせるかどうかです。ケガや病気になった時、すぐに見てもらえ治療してもらえるかどうかです。病院の場所や行く為の交通手段、費用の問題等々いろいろと生じる課題がクリアできる。公的な援助も十分保障されているとしたらどんなに安心でしょう。	1		
28	運転免許証をかえしてしまったら買い物、病院にとっても不便になり生活が成りたっていきません。バスの便をもっと利用出来やすくしてほしいです。	1		
29	青野原は、運転が出来なくなる時	1		

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	がくるので神奈中を増やすか、他の手段、乗合バスなどを利用出来るようにしてほしいです。			
30	高齢者が気軽に利用出来る交通手段を。年末、喉の具合が悪かったので、総合病院で診てもらうことにしました。免許証は75歳の時に返納していて車は乗れませんので、バスを乗り継いで行きました。一つの路線は本数が非常に少なく、そのためか利用者も少なくバス代が年々高くなっています。高齢者保健福祉計画（案）は高齢者がいきいきと充実した生活を送れるようにと、計画の趣旨・位置付けを説明していますが、お金のない高齢者にとって足の問題は深刻です。バスが利用出来ないような地域に暮らしている人も大勢います。病院行くにも買い物に行くにも、行く手段が無ければ、家に閉じこもりがちになり、健康への影響も出てくることになり、いきいきとした生活どころではないでしょう。誰もが気軽に安く利用出来るような移動手段をぜひ実現してほしいです。	1		
31	生活していく為の日常的な仕事が次第にできなくなり、買物、通院、郵便局、農協などに、行けなくなる。気軽に公共の交通機関の整備が望まれます。	2		
32	緑区に住んでいるので車返納したくても不便で出来ないの、利用側にたった簡単に利用出来るよう要望します。	1		
33	高齢者の1人暮らしが増加しています。コロナの為サークル活動や	1	ひとり暮らし高齢者数は、今後も増加して行くことが見込まれていることか	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	近所づきあいも減り、孤独死もあります。1人暮らしのひとの見守りや交流の場づくり等の体制づくりをして下さい。		ら、地域の団体や民生委員・児童委員が連携した見守り活動の推進や重層的な見守り体制の整備を行ってまいります。	
34	<p>高齢者が生き生きと生活を送ることが出来るように取り組む施策について。</p> <p>1 高齢者が自宅から会場に10分、体操15分、参加者懇親10分、帰宅10分 約45分から1時間を有効活用しています。</p> <p>2 参加者で最高齢97歳が元気で体操、我々の見本になります。</p> <p>3 1年間述べ8,500名（5ヶ所）の高齢者の健康維持、増進を行います。</p> <p>4 夏休みには子供合同のラジオ体操を行い、終了時にはヤクルトサービス。</p> <p>5 目には見えないが元気はつらつとして、医療費の減につながっていると思われま。</p> <p>6 令和6年は実施から10年目を迎える事になります。</p> <p>高齢者の健康維持、増進事業として、これからも続けてゆきますので、よろしくご指導の程お願いします。</p>	1	<p>ラジオ体操は、子どもからご高齢の方まで誰もが身近で気軽に取り組める健康づくり活動でありますことから、市では正しい動きを学んでいただくための講座や市内のラジオ体操会場を一覧にした「ラジオ体操会場マップ」の作成などにより、その普及に取り組んでいます。</p> <p>日ごろ、ラジオ体操会場の運営にご尽力いただいていることにお礼申し上げますとともに、引き続きご協力くださるようお願いいたします。</p>	イ
35	地域個人個人が健康の維持、又は医療の削減、これには行政の力も必要と考えます。	1	健康づくりは何より市民の皆様一人ひとりに自ら取り組んでいただくことが重要と考えておりますが、その取組をサポートするため、市では運動の習慣化や食生活の改善などの活動を各地域で推進していただく市民ボランティアの養成・育成に力を入れており、引き続き地域や市民の皆様が主体となった健康づくりに取り組んでまいります。	イ
36	生きがい介護予防施策等を推進し	1	本市では、高齢者の健康の増進、教養	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	ていくためには身近に学習会、食堂、軽いスポーツ、入浴、音楽やダンス、又、囲碁、将棋等も楽しめる施設の建設を望みます。よって、高齢者は生甲斐を見出し、担い手の発掘や高齢者の社会参加も促せる。又、図書館、公園も併設し、健康な高齢者の社会進出も助長出来る。尚、多くの市民が利用できるよう交通の便の良いところに建設し無理なところはマイクロバス等の配慮が必要と思います。		の向上、レクリエーションのための施設として、市内3か所に老人福祉センターを設置しています。なお、老人福祉センター溪松園（緑区大島）につきましては、曜日ごとにコースが決められている無料の送迎バス(要予約)を運行しています。このほか、市民の健康の増進や高齢者の福祉の向上のための施設として、市内2か所にふれあいセンターを設置しており、引き続き、高齢者の皆様の日頃の健康づくりをはじめ、趣味や教養の向上に関する活動を支援してまいります。	
37	担い手の発掘等々＝ボランティアで対応させて市の財政支出を抑える目的ですか？	1	住み慣れた地域で自分らしく過ごしていくためには、趣味活動を含めた様々な活動や機会が必要であると認識しております。また、ボランティアや担い手として活動していただくことは、活動している方自身の介護予防を促進する活動のひとつであると考えております。地域で支えあう仕組みと皆様の介護予防につながる取組を進めてまいります。	ウ
38	公民館を無料に戻し、いつでも誰でも自由に人と集い、交流できる場にしてください。人と出会いの交流をするには、場所が必要です。公民館はそのために地域ごとに設置されているはずです。	1	公民館の使用料につきましては、本市の「受益者負担の在り方の基本方針」に基づき、施設の維持管理に必要な費用の一部について、施設の利用に応じたご負担をいただいております。公民館が、学びを通じた「人づくり、つながりづくり、地域づくり」による地域コミュニティを支え、引き続き、地域の皆さまの交流と連携の核となるよう努めてまいります。	ウ
39	今までの高齢者が生きがいをもって参加していた、公民館のサークル活動に貸室料を課すことは、少ない年金の中から出費することは、今の物価高では、これを諦め	1	公民館の使用料につきましては、本市の「受益者負担の在り方の基本方針」に基づき、施設の維持管理に必要な費用の一部について、施設の利用に応じたご負担をいただいております。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	ざるをえません。 高齢者と位置付けている65才以上の方は公民館の貸室料を無料にしてください。介護予防、健康づくりの取組にもつながります。		公民館が、学びを通じた「人づくり、つながりづくり、地域づくり」による地域コミュニティを支え、引き続き、高齢者の皆さまの健康づくりの取組みの場となるよう努めてまいります。	
40	健康づくりでの取り組みでは、高齢者が生きがいを持って生活できる環境が必要です。文化・スポーツ施設の充実や、自主的に健康の取り組みが出来るような場所の提供などが必要です。公民館や施設を高齢者には無料で提供してください。	1	公民館の使用料につきましては、本市の「受益者負担の在り方の基本方針」に基づき、施設の維持管理に必要な費用の一部について、施設の利用に応じたご負担をいただいております。公民館では、引き続き高齢者の皆さまの健康づくりの取組みの場となるよう努めてまいります。	ウ
41	短期集中予防サービスの利用促進とあるが、何で短期集中なのかわかりません。	1	短期集中予防サービスは、リハビリテーション専門職らが中心となり、3か月程度の短期間で効果的かつ効率的な支援を行うサービスです。令和4年度に実施した結果につきましては、このサービスを利用した方の約72%が、介護サービスを利用せず、再びいきいきとした生活を取り戻すことができいております。 このことから、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく、いきいきと長く暮らせるよう、短期集中予防サービスの利用促進を図ってまいります。	ウ
42	在宅医療・介護を包括的かつ継続的に提供できる体制は、具体的には何をどうして構築するか明確にして実現させてください。	1	本市では、「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し、医療・介護の関係機関が連携・協働する体制を推進しています。こうした中で、従事者の相談窓口の設置や地域ケアサポート医によるアウトリーチのほか、情報共有の仕組みづくりや多職種研修会などを実施しています。 今後も、高齢者を支える基盤の整備や包括的な支援体制の整備などと一体的・包括的な取組を進めながら、在宅医療・介護連携を推進してまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
4 3	認知症施策が在宅医療・介護に設定されているが、公的又民間病院での施策の設定・実施も必要です。	1	医療・介護の関係機関が協働・連携して、在宅医療・介護を包括的かつ継続的に提供できる体制を構築することが重要であり、その関係機関に病院等含まれております。 本市では、医療・ケア・介護サービス、介護者への支援として、認知症疾患医療センターの設置、医療従事者等への認知症対応力向上研修などを実施しております。 今後も、認知症施策を推進するため、在宅医療・介護連携と一体的に取り組んでまいります。	イ
4 4	権利擁護を正しく理解している人材の育成にも市の財政支援が必要ではないでしょうか？	1	本市では、権利擁護に関する一次相談窓口である地域包括支援センター等に対する研修の実施や、市民後見人の養成研修等を通して、権利擁護に関する人材の育成や理解促進に取り組んでいます。また、今後は、社会福祉法人等を成年後見制度の担い手として確保・育成するための取組を進めてまいります。	ウ
4 5	所得制限をしないで補聴器への助成を。私は7年ほど前から難聴の傾向が現れるようになりました。 難聴を放置しておくと、認知症になる確率が高くなると言われています。補聴器を装着するのが一番の対策だと思いますが、補聴器は片耳だけでも数十万円もするのが一般的で、わずかな年金暮らしの私には届きません。安い集音器で我慢していますが、余分な音も拾い頭が痛くなってきます。市は補聴器の購入者に助成するモデル事業を始めました。良いことだと思いますが、対象者が非課税者に限り、助成額も非常に少ないと	1	介護予防促進モデル事業（高齢者補聴器購入費助成）につきましては、令和4年7月からモデルとして実施しています。事業の実施により、高齢者の外出促進やコミュニケーションの増加への効果が出ていると認識をしており、令和6年4月から本実施する予定としています。 今後に関しては、頂いたご意見を参考にし、継続して事業の実施ができるように、当市の財政状況や事業の効果検証を行いながら、制度の運営に取り組んでまいりたいと考えております。	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	思います。認知症患者を減らすためにも所得制限を無くし、助成額ももっと増やす政策を進めて欲しいと思います。			
46	補聴器の所得制限を上げて補助して下さい。高額なので。	1		
47	地域包括支援センターで働く人を増やし、それなりの報酬を与えてください。そうでないと人材は集まりません。	1	地域包括支援センターの運営は、社会福祉法人等へ委託しておりますが、引き続き業務内容に応じた金額で委託してまいります。	ウ
48	地域包括ケアシステム構築のための中核的な役割を果たす地域包括支援センターの機能強化を行うことが概要に明記されています。また、計画(案)の83ページでは同センターの期待や役割は増大しているとされています。今後の方向性を実現するための主な取組について、「実施状況の把握」や「検討」、「検討の実施」のほか、地域ケア会議の運営支援等による地域づくりに向けた支援など、主体性が乏しいと内容となっています。令和8年度には地域包括支援センターの機能強化が確実に見えるような具体的な取組みに修正すべきと考えます。	1	地域包括支援センターの機能強化に向けては、現状把握を十分に行い、効果的・効率的な運営に向けて、主体的に検討してまいります。	イ
49	高齢者が民間賃貸住宅へ入居できてもそれからの家賃支払いが大変です。その支援もお願いします。	1	家賃の補助につきましては、公平性や将来にわたる財源の確保等に課題があることから実施は困難な状況です。	ウ
50	民間賃貸住宅への入居支援は利用者と話し合いをしたいと思います。家賃は高いのではないのでしょうか。市で援助をするのか記載されていません。記載してください。	1	いただいたご意見につきましては、今後の支援の検討のため参考とさせていただきます。	
51	在宅介護は家族にとって大変な労力があるものです。居宅介護サービスの推進は必須です。	1	今後、高齢者の増加に伴い、介護サービスの需要が増加することが見込まれますが、支援が必要な方に必要なサー	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
			ビスが行き渡るよう、居宅サービスや地域密着型サービスの拠点の整備促進を基本として、介護サービス等の基盤を整備してまいります。	
5 2	相模原市に特養老人ホームが現在3ヶ所、もっと増やして下さい。	2	現在市内には、46カ所の特別養護老人ホームがあります。特別養護老人ホームを始めとする介護保険施設等については、有料老人ホーム等の整備状況や入所待機状況等を踏まえて、必要な供給量を確保してまいります。 特別養護老人ホームについては、待機者はいるものの、比較的短い期間で入所できる状況となっているため、第9期計画期間においては、新規整備を行わないこととしています。	イ
5 3	相模原市内には特養老人ホームは3ヶ所、もっと増やして下さい。緊急時に入所が難しいです。	1		
5 4	相模原市には特養老人ホームが各区に1ヶ所ありますが、待機待ちと聞きます。もっと増やして下さい。	1		
5 5	もうすぐお世話になる夫の行く先特養老人ホームの増設をお願いしたい。	1		
5 6	高齢化社会の中、民間で老人ホームが作られるのは良いのですか？高額者の人が入るホームでは年金暮らしの低所得者には入所できません。市では特養老人ホームを低所得者に入所できるよう増やして下さい。	1	特別養護老人ホームを始めとする介護保険施設等については、有料老人ホーム等の整備状況や入所待機状況等を踏まえて、必要な供給量を確保してまいります。 特別養護老人ホームについては、待機者はいるものの、比較的短い期間で入所できる状況となっているため、第9期計画期間においては、新規整備を行わないこととしています。 また、新規施設等の整備に際して公募による選考を行う場合に、低廉な料金設定を促すなど、高齢者の安心した生活を支えるための取組を進めてまいります。	イ
5 7	介護施設が少なく、認定されてもなかなか入所出来ないと聞いています。また介護職員も少なく充実したサービスを受けられないとのこと。介護費用も高く、国民年金だけでも入所出来るよう援助をお願いします。高齢の介護保険	1	特別養護老人ホームを始めとする介護保険施設等については、有料老人ホーム等の整備状況や入所待機状況等を踏まえて、必要な供給量を確保するとともに、質の高い介護サービスを安定的に確保するため、引き続き、介護人材の確保・定着・育成に取り組んでまい	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	料を支払っていますので人生の終末は安心して暮らしたいと思えます。		ります。 また、新規施設等の整備に際して公募による選考を行う場合に、低廉な料金設定を促すなど、高齢者の安心した生活を支えるための取組を進めてまいります。	
58	広々とした施設をつくってほしいです。庭があって車いすで歩ける場所があればいいと思います。	1	介護保険施設等の広さや設置される設備など、サービスの提供に必要な基準を超える仕様につきましては、施設の設置・運営主体の経営判断により整備されるものと考えています。	エ
59	公共施設や民間の施設は殺風景で家庭の温かさがある建て方にするように、毎日生活する場所なのです。これからは広々とした施設をつくることです。庭があり、車いすで、歩ける。自由にいられる場所、図書館などあれば、再び、人間としての生活に潤いが出てくるでしょう。	1		
60	施設の人員確保するために賃金を高くし働きやすくして下さい。	1	介護職員の賃金改善につきましては、介護保険制度の中で対応すべきものと考えており、機会をとらえて国に働きかけてまいります。	ウ
61	人員確保には賃金を高くし人員を増やし働きやすくして下さい。どう見ても賃金が安すぎます。	1		
62	今後私達がデイサービスを利用時職員の人員数が少なくでは困ります。その為には給料アップをしてもらいたいと考えます。	1		
63	介護職員の給料を上げ、職員を増やさないとむずかしいでしょう。	1		
64	介護に携わる方々の待遇改善を。肉体や神経を非常に使う労働であるにもかかわらず、介護に携わる方々の賃金は他の職業と比較し非常に低い状態におかれています。公務員並みになるよう、市独自の特別手当を設けて欲しいと思えます。	1		
65	介護施設等働く人が少なく過重労働	1		

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	働になって居ます。最低賃金引き上げをして、特別な支援を希望します。			
66	高齢者を支えるためにまず人員確保は、賃金を高くし、人員を増やし、働きやすい環境にすることです。市でいう介護ロボットやICTの活用も良いと思います。物価高で賃金安と若い世代の生活の考え方が変わり、結婚し赤ちゃんを産む方が少なくなっています。他の課と協力して、出生率を増やすことを考えないと将来的に大変な問題になります。	1	介護職員の賃金改善につきましては、介護保険制度の中で対応すべきものと考えており、機会をとらえて国に働きかけてまいります。 また、ロボットやICTの活用により介護職員等の負担軽減を図るなど、働きやすい環境の整備に努めてまいります。	ウ
67	ケア労働に対する賃金を上げないと近隣の処遇が良い施設に人材が逃げてしまうのではないのでしょうか？	1	介護人材を確保する上で、賃金の改善は重要であると認識しておりますが、職員の賃金改善は、介護保険制度の中で対応すべきものと考えており、機会をとらえて国に働きかけてまいります。	ウ
68	これから介護を受けるのに、料金が高く利用しづらいです。施設に入りづらいという事になり兼ねません。「誰でも安心して」は無理です。	1	新規施設等の整備に際して公募による選考を行う場合に、低廉な料金設定を促すなど、高齢者の安心した生活を支えるための取組を進めてまいります。	イ
69	年金は低く、介護保険料も払っていても、高額料金がかかる介護施設に入所できません。新しくできた施設でも14万円かかります。援助が必要です。	1		
70	介護保険料を支払っていても介護施設に入所するには高額料金がかかり入所出来ません。市としての支援をお願いします。	1		
71	高齢者人口がピークを迎える令和22年（2040年）には、現在の経過年数が30年を超える老人ホームも大半が50年を超えることになり、	1	施設老朽化への対策については、大規模修繕への支援に限らず、必要な取組を検討してまいります。	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	<p>それまでの間に改築等の措置が必要になります。</p> <p>30年以上経過した施設では、大規模修繕を実施したとしても、震災対策等の防災対応や、空調、昇降機等の設備の老朽化だけでなく、天井部や側壁部の配管の老朽化、容量不足は、修繕だけでは対応困難な箇所もあり、施設の建替や改築等による抜本的な対策が不可欠です。</p> <p>主な取組みとして、老朽化という観点からの大規模修繕に特化した支援のみではなく、施設の改築等も対象とした支援としていただきたい。</p> <p>主な取組 ▶老朽化した特別養護老人ホーム等の大規模修繕等への支援。(等への支援も必要と考える)</p>			
72	能登半島地震の災害を受けてこれを教訓に対応を充実してください。高齢者の1人暮らしも多くなっていますのでよろしくお願いします。	1	<p>災害に備え、平時からの事前準備を促進、支援し、災害時における要介護者等の要援護者に対する支援体制の充実を図ることとしております。</p> <p>ご意見の趣旨を踏まえ、今後も取組を推進してまいります。</p>	イ
73	災害に対してもっと考えてほしいです。	1		
74	能登半島地震被害救援の遅れを反省し、市での高齢者、施設入居者への対応の迅速な支援ができるように体制を整えてください。	1	能登半島地震により被災した施設における被害状況や必要となった支援策などの実態について調査・検証を行い、市高齢者福祉施設協議会等の関係機関との連携を図りながら、本市における施設への支援策を検討してまいります。	ウ
第6章 認知症施策推進計画 (3件)				
75	基本目標2(102・103ページの「家族介護」について) 現状と課題、今後の方向性の中で	1	ご意見を踏まえ、「介護する家族等」に表現を改めます。	ア

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	「家族介護」とあるが、「介護する家族等」としたほうが、わかりやすいと考えます。			
76	「認知症」、「若年性認知症の人」は認知症基本法と同様に、認知症である者を「認知症の人」、65歳未満で認知症となった者を「若年性認知症の人」という説明を入れたほうがよいのではないのでしょうか。	1	認知症基本法第1条に規定されている、認知症である者（以下「認知症の人」という。）や同法16条の若年性認知症の人（65歳未満で認知症となった者をいう。）を引用して、「認知症の人」、「若年性認知症の人」と表記していますが、法の基本理念（尊厳の保持）などを踏まえながら、より適切な表記とするため「認知症のある人」、「若年性認知症のある人」へ改めます。	ア
77	基本目標3（106ページ・コラム「若年性認知症」とは） 若年性認知症について、わかりやすく説明されているが、若年性認知症という単一の病名があるような誤解を避けるため、「若年性認知症」には、様々な原因疾患があることを追記していただきたいと考えます。	1	若年性認知症について一般的な表現を用いていますが、ご指摘のような誤解がないよう表記を改めます。	ア
その他（19件）				
78	南区に50年住んでいる90才の老人です。 大きく言えば市民病院がない事！！考えられません。今北里大学病院は紹介状が必要。昔の国立相模原病院は北里の下うけの様な感じで各科ごとに紹介状が必要。それが開業医は出ししぶりの感がある様です。高齢者はいろいろと故障をおこしています。もう大変です。私など、相模原病院に行った事がないので、いざ倒れたらすぐみてもらえない様です。何故市民病院的なもの出来ないのか。開業医の先生方の力不足かと思	1	本市では、医療関係団体と連携した初期から三次までの救急医療体制及び必要な地域医療体制を提供しています。今後も、持続可能な医療体制の確保や医療従事者の確保・養成など、市民が安心して医療を受けられるために取り組んでまいります。	エ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	ます。私は大阪出身です。いろいろ云いたい事は多くさんありますがこれぐらいにします。			
79	中山間地域の診療所を無くさないで、もっと充実した形にしてほしいというしっかりした施設が整っていれば、若者にとっても住み安い地域になります。未来を見据えて（地域の、若者の）ほしいです。高齢者がいきいきと長く暮らせる地域にしてほしいです。	1	中山間地域の医療体制につきましては、地域の特性を踏まえた持続可能な医療の確保を図るため、「中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針」を今般策定いたしました。本方針では、中山間地域の医療等に係る課題に対応するため、市所管の診療所を原則として地区ごとに1診療所に再編することにより生み出すことができる資源（医療資源・財源）やICT（情報通信技術）等を活用し、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して医療が受けられる持続可能な医療提供体制の確保に資する取組を推進することとしています。今後、基本方針に基づく取組を進めるとともに、丁寧な周知等に努めてまいります。	エ
80	中山間地域の診療所の統廃合はやめて下さい。地域で安心して暮らし続けるにはぜひ必要です。高齢化は進んでいます。交通も不便です。診療所は住民にとって命綱です。	1		
81	身近な医療機関である診療所、病院は無くさないで下さい。	1		
82	今、千木良では診療所が無くなっては困るという事が1番気になっています。今のままで診療所を置いておいて下さい。	1		
83	包括的な介護の充実のためや、災害時のためにも身近にある医療機関（診療所、病院）は無くしてはいけません。	1		
84	中山間地域の診療所は縮小せず残して下さい。交通の便が悪く、遠くまで病院に行くのは大変です。老人は病気を心配して生きています。安心して生活できるよう考えて下さい。	1		
85	交通の便が悪く、免許証も返納した高齢者は通院が大変です。中山間地域の診療所は無くさないで下さい。包括的な介護が出来る元になります。	1		

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
86	介護保険料は高くとられて生きて行くのが大変です。	1	<p>平成12年に創設された介護保険制度は、介護や支援を必要とする高齢者を社会全体で支えていく仕組みとして、公費及び納めていただいた介護保険料をもとに運用しています。</p> <p>本市の介護保険料は、ご本人及び世帯員の所得や課税状況に応じて11段階に分類し、それぞれご負担をお願いしており、今後とも、制度を安定的に運用していくうえで、大変重要なものがありますことから、何卒ご理解ください。</p> <p>なお、第9期相模原市高齢者保健福祉計画期間中の介護保険料につきましては、介護サービスの提供に必要な費用等を適切に見込み、設定してまいります。</p>	ウ
87	介護保険制度と在宅医療などが云われても利用料と保険料の支払いが心配です。	2	<p>平成12年に創設された介護保険制度は、介護や支援を必要とする高齢者を社会全体で支えていく仕組みとして、公費及び納めていただいた介護保険料をもとに運用しています。</p> <p>本市の介護保険料は、ご本人及び世帯員の所得や課税状況に応じて11段階に分類し、それぞれご負担をお願いしており、今後とも、制度を安定的に運用していくうえで、大変重要なものがありますことから、何卒ご理解ください。</p> <p>なお、本市では、利用料において、1か月に利用したサービスの利用者負担上限額を超えたときの「高額介護（介護予防）サービス費の支給」、施設サービスと短期入所サービスを利用する低所得者を対象とした「利用者負担額の軽減」を、また、介護保険料において、「収入の著しい減少等の特別の事情により、介護保険料の納付が困難な方を対象とした介護保険料の減免」等を実施しています。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
88	私は、いま85歳。これまでも、これからも「介護」にかかわるあれこれに関心をいだきつづけてきましたが、肝心要の国が、介護大改悪を名言している始末。介護保険料を徴収し、ちがう介護大改悪を断行するなどとは、非情の極み！市の姿勢も国に前へならえとならないとは言えない。心あたたかい市政、苦勞して生きてきてよかったと思えるような介護サービスを切望している次第です。	1	介護保険制度の基本的な設計等は国が定めているものではありませんが、本市ではこれまでも介護サービスの利用が制限されることがないように利用料の負担軽減を拡大することや、介護保険料の上昇を抑制することなどについて国に要望しています。今後も引き続き、国の動向を注視し、必要に応じ要望してまいります。 なお、第9期相模原市高齢者保健福祉計画期間中におきましても、引き続き、適切かつきめ細やかな介護サービスの提供に努めてまいります。	ウ
89	基本目標1、2、3そして重点的な取組事項における「介護」についての記述で、「推進」ということが多く書かれていますが、今、国の介護大改悪で、介護サービスを大幅カットする施策が明らかになっています。利用料の2倍代や要介護2以下に認定されている65%の人が、介護保険のサービスから排除されるなど、高い介護保険料を徴収しながら、サービスを受けられない要介護者が多数出ることなど、一言もふれられていません。 「高齢者がいきいきと充実した生活を送れるよう基本的な目標を定めその実現に取り組む」と位置付けた市の保健福祉計画とは、ほど遠い現実が我々高齢者におしつけられているのです。 高齢者への社会保障大削減をやめて下さい。	1		
90	楽しみにしていた敬老祝い金の廃止。もっと老人を大事にする市制にして下さい。	1	人生100年時代を迎える中、高齢者を取り巻く環境が大きく変わってきていることから、これまでの個別給付的な敬老金の事業を転換し、今後、必要とされる高齢者施策に着実に取り組ん	ウ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
			でいくこととしています。	
9 1	はり、灸、マッサージ施術料の縮小をしないでほしい。老人は自分の身体を少しでも楽にしたいと願い通院します。高額だと施術はあきらめます。	1	はり・きゅう・マッサージ施術料助成事業につきましては、事業開始時期と比べ、介護予防事業等が充実し、高齢者をとりまく環境も変化してきたことから見直しを行ったところです。高齢化が進む中で、福祉施策全体の持続可能性を確保していくためにも、本事業の見直しを含めた行政基盤の構築が必要であると考えています。 高齢者の健康保持や介護予防に向けては、重点的に推進することが必要な介護予防、健康づくり事業や認知症施策、包括的な相談支援体制の整備などに取り組んでまいります。	ウ
9 2	団塊の世代が後期高齢者になり、その対策の保健福祉予算を大幅に増額する必要があります。そのためには橋本駅南口開発で、相原高校跡地のJRの駅のトンネルの上に49mの必要のない道路や、多数の住民を追い出して174億円もの道路（大西大通り線）をつくる無駄なことはやめてください。 長年社会に貢献してきたお年寄りに対して、予算を使うことは枯れ木に水をやるようなものだといった人がいました。生産性のない人は用済みであるという差別と人権侵害を許してはいけません。弱い人を助けるのが自治体の役割です。本来の自治体の役割を果たしてください。	1	誰ひとり取り残さない社会を目指し、高齢者福祉等の事業を行っております。これからも、高齢者の方が、住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、ご意見を踏まえ、施策を推進してまいります。	イ
9 3	公営の施設は緊急時に備えWiFiは必須と思います。	1	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	ウ
9 4	高齢者（主に独居の方）の安心な暮らしをサポートするため、相模原市による、終活支援の枠組み構	1	高齢者がいきいきと充実した生活を送るためには、終活の考え方は非常に重要であると認識しています。引き続き、	イ

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	<p>           築を検討してほしいです。終活ブームが訪れて久しく、老い支度の一環として心配事を軽減する手立てが重要であるという認識が広まってきました。しかし、実際にどこへ相談に行けばよいのかをはじめ、そもそもどういう措置を講じておけばいいのかわからないのが現状です。また、実際に解決してくれる士業の先生方の事務所はなかなか一般的には敷居が高いです。そのようなことから、終活講座などを数多く経験し「終活しよう」と思う人々と数多く接してきた私ですら、なかなか順調に実行できている人に出会うことは少ないです。公的な機関において無料の相談窓口や支援スタッフの常駐等の取り組みがあれば、事情は異なってくると思われま。実際に、終活支援に乗り出している自治体は増加の一途を辿っています。一例を挙げると、NHKにも取り上げられた豊島区の終活あんしんセンター、川崎市の終活支援事業、千葉県鎌ヶ谷市の終活相談窓口の定期開催等。しかし「相模原市 終活支援」というワードで検索すると、民間の有料サービスが多くヒットします。誰かのサポートを期待して検索しても、どこを選べばよいか分からないのが現状です。既に検討中であれば無用な提案となるが、逆に喜ばしく思います。もしまだ手付かずということであれば、是非市民の幸福感・安心感というものにも目を向けていただき、超高齢社会に対応した温かい         </p>		<p>           もしものときにために、自らが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療関係者と話し合い、共有する取組である「人生会議」の普及啓発を推進するとともに、地域包括支援センターにおいて、終活に関する講座を実施するなど、取組を進めてまいります。         </p>	

通番	意見の趣旨	件数	市の考え方	区分
	支援策の実現に向かうムーブメントを期待します。			
95	相模湖リフレッシュセンターの利用手続きを高齢者にも簡単に出来るようにしてほしいです。	1	高齢者の生きがいや交流の場、世代間交流の場として、利用促進を図る方策の一つとして検討してまいります。	ウ